(-)

天阜陛下

都野演習場御巡視

質疑應答第

席に就

意見かに諸で監

張司法部大臣、呂産業部大臣より夫々所管事項について訓示あり十一時半打揃つて省長會議第二日は九日午前九時半より閉會、桂地方處長の挨拶、國族揚揚あつて後

教意を表

全國省長會議第二日

産兩相より訓示

#### 月世 9

升山 日九月

| 一大 | 本子 | 大學長) | 大學長) | 大学の | 大学

事 住 來



島政治氏(貿易商)國都 

既の釋放につき奔走 | 第二十各師長、第三十二軍長 | を共にしてゐる、ので何應欽、何成溶 | 蒋介石の股肱の一人で第一、 | 任西安事件には蔣介石と苦難適じてゐたとの嫌疑 | 中であると、銭大鈞はかつて | 軍事委員網江警備司令等を歴 

を様氏(同)同二氏(漢種菜)同二氏(高計員)同二氏(資計員)同二氏(常計員)同式氏(商計員)同式氏(育計員)同式氏(育計員)同一大氏(資計員)同一大氏(資計員)同

若干名

字隊

(東海無線電氣會) 同人一氏(會社員)同 一、年齢三十五歳までの身體強なれる 一、市内に確實なる身元引受人を要す 古希望者は十二月十五日迄に異歴書及宣眞持令木人来談 相成度し 大同大徳二〇二大興ビル内

の爲全面的潰亂

通夫氏 (官吏) 蓬萊本 

の 日

小さな、青蔵受けてゐる園 が和平を提唱した、数果は見 0

一、中等學校卒業程度
一、中等學校卒業程度
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す
一、兵歷を有するものは優遇す 雇員要員募集

興安師及本部

若干名(成る可く軍隊既教育者) 滿洲與業銀行人事課 12,00 3,35 7,20 12、25 4、60 7、45 1,05 4、50 11,00 八十錢 日曜九時四十分開映  $\mathbf{5}$ 港の掠奪者巴里の暗黑神 **水**週 上映

劇

様に厚く 都合により明日より上映致 します、 本日より上映の残菊物語は 一月 お 詑

御詫び申上げます 本日御來場のお客

1,03 4,16 1,59 5,09 2,19 3,19 7,16 8,11 8,11 9,22 10,24 3,10 0,10 あきれた百萬圓



監察委員数は八月

右は銭が和平論者のグループ おいて監禁されたといはれる

「南京八日發劇通」中変軍十 特子江下流地域 十月中綜合戰果 十月中綜合戰果

義寧を奇襲

**運動を妨害すると共に** れが汪精衛の新中央政 日**を**関通』十一月初

除喘を保つてゐる

長込みである、から

全に遮断されたと同時に軍需は江南、江北地區の連絡は完

単需品、 担食補給を ・ 場合素動をついけて ・ 場合素動をついけて ・ 場合素動をついます。

一年定職を實施中なり、十月中一年を制し江南江北中支一帯の 本交戦回数二四八本交戦回数二四、五八一本戦道 兵力一五四、五八一本戦道 兵力一五四、五八一本戦道 三一〇、砲艦7四、野山砲二、 三一〇、砲艦7四、野山砲二、 三二七、小銃曜一、河鉄五、 三二七、小銃曜一、河鉄五、 三二七、小銃曜一、河鉄五、 三二七、小鉄曜一、河鉄五、 三二七、一大四 三二七、一大四 三二七、一大四 三二十、一大四 における揚子江下流地域の粽 月八日午後五時發表=軍は

滿司法連絡會議

大打撃を与けその遺棄死機數

月下旬の濃量輸方面の

常設機關を設定

意見の一致を見る

たらうがだららが

文化について、教育につい

錢大鈞監禁

れば空軍委員會主任銭大鉤は【香港九日發國通】確報によ

一一軍長豆銀吾等の内心の大力の大力を選挙に機能を置きるの人には第十八軍長関連統領の大力を開発した。一年の大力の大力を開発した。一軍長五十二十五軍長限之帝の大力を開発した。

の断島が指

せ大打撃を與へたと言はれる 現はれ同市に巨弾の雨を降ら

湖南兩省空襲

今後の研究に俟つて決定す

特産専管の協議

た、 同協議會の結果は近く正式の職を継た上質施されるものと見られるが、政府今後ののと見られるが、政府今後のと見られるが、政府今後ののと見られるが、政府今後ののと見られるが、政府今後の 生なる出席者左の通り

た、即ち一瞬は同日午前十一に関ロ三り偵察爆撃を敢行し

親定を思想實現、此時に 日の恩案に勝る今一度の 日の恩案に勝る今一度の

市解前通り入る

親相 二二圓

易断鑑定は合議

自項斷易 事病煩結適運 菜氣閱婚業勢

連命協定 高島級易願 京高島派易願 中時も早く時選の稍長を 知りて選大なる大理想の 別の生活建設へ選進せ りれよ

新京 京

**築法** 89 郎院

明日 定休日。就 (木里和IIIANATINE BAILERYMIKE BAILERYMIKE BAILERYMIKE BAILERYMIKE BAILERYMIKE BAILERYMIKE 7,18

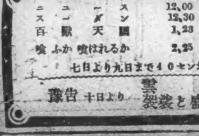






坂本 都介

一、最終の所持人 新京特別市県智胡同一、張出の年月日 康總六年十月三十一日一、受取人 無記名



十一番地株式會社間組織州營

















# 萬歲!春園上等兵

国見 国見 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 東部大臣等多数の関 大臣等多数の関 大臣等を記 大臣等を数 大臣等を記 大臣を記 大臣を記

今時主なる放送

隨員一名四華民國臨時政府代表三名 自正月ま

一同代議會情報部長アートの大學教授今村忠介大學教授今村忠介大學教授今村忠介とは、一個人の大學教授会村忠介とは、一個人の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会の大學教授会社会を表現る。

李子峰、內政部連絡顧問中華青年團指導

最低四百圓の現金收受或に物特權を利して最高七千四百圓

レリオ・アルベロ、同代議会委員ビセンテ・コレア 本事務局側六名 事務局副總裁渡補代表圖々 長陸軍中將赤井春海、事務 局員伊藤晉文、正國務、鈴 ボ謙郎、大久保勢明、三谷

大人も及ばの機智盛つた 兒童創案入選發表

- 満人家庭へ贈物

管局の百ケ日に當るので、午 二日兇嫌に整れた故桑田信親 中央通響では九日が去る八月

故桑田警尉忌日

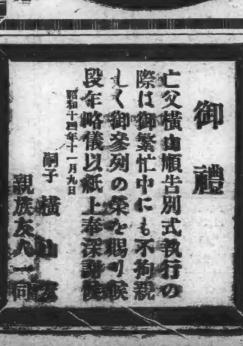
團體往來 (九日)

右希望者は至急御來談下さい大都木テル事務所、大都木テル事務所

下厚く御體申上候實は一々拜施の上昨夜類燒の際は早速御馳付御見味被

謝類燒御見舞





急 八日より十四日まで六、七階

東亞の大同 團結 防共懇談會

十四日

ある。

の一段落を見、起訴された敗 摘破送局したがこの程取調べ

產業部疑獄 催NO11

時 +

所 祝 町 月 十十九日日日 £ 晝夜

日本一の千恵藏と虎造の大顔

野和子さん 関防費に献納したし ででは、本社へ金宝百圓を ができる。 では、本社へ金宝百圓を ができる。

結婚披露宴を廢し

台地代表續々入京

近く花街業者懇談會

代表の到

新税創設の辯。

本七・三〇國民の時間「石炭 簡別の現狀」(新京)屋野直 は、東京) ▲ハ・三〇時周談 語「最近の國際情勢」(東京) を通漢(本天) ▲ハ・三〇時周談 語「東京) ▲ハ・三〇時周談 語「東京) ★ハ・三〇時周談 語「東京) 「宮本武蔵」市川

日本構通り二六

事故御尊名洩れも有之と存じて表し御禮申上可害に候へ共何分混雑中の 紙上を以つて御禮申上候



端語放送開始 湯語放送開始

地方公演に主力を注いである 大同劇側では全個員出演して 十月二十五、六、七の三日內 古本省艦石縣、二十八、九、

の演出ぶりを見せてゐると いふ充分期待される一作 なほこの他に長春座にはアト ラクション「上海ショウ」が あり、帝キネの方には東簀「

年は、何ッ十九だ、まさか七でもあるまいが、君は幾つか

型へたわけでもあるまい、なんだな君は醉ばらつて居ると思つて人を馬鹿にするれ、だま、若し貫面目會といふのがあつたら私一番先きに會員になる方だわ、昔清少納言といふるがやないか、ウムウ、信香春時代を吟味でせら、あの、アライヤダ、女にも男ってるの、アライヤダ、女にも男ってるの、アライヤダ、女にも男ったも気があったでせら、あの人とも見になるがやないか、ウムウ、何んのことやら判らないの、そのるだやないか、ウムウ、何んのことやら判らないの、そのるで、アライヤダ、女にも男ってるるの、アライヤダ、女にも男っないの、夢なるの、アライヤダ、女にも男でないか。

こと言はないで、私近頃憂難なんだから、離れかに青春時なんだから、離れかに青春時には千軍萬馬の萬華鏡子もれには千軍萬馬の萬華鏡子もはて春を覺えようとするこのトーチカ娘は花園會館の撫子のトーチカ娘は花園會館の振った。

/ 日初日期

目下開催中

明治梨園の芬園

果新のサービス----

料金九十錢均 時毎日十

栗栗栗の天津甘栗一袋宛差上ます 栗津

甘天

レヴュウ



健二の名演出に醉ふ感激 新派の名優花柳章太郎の名演技ご溝口 の二時間半 他京都總動員 心京都總動員 他京都總動員

組人四珍の下天屬專部藝演與新 演出初画映すいうほった あ n



人生さながら潮の如し 追はれる者の汚名を着て、世に 意れられぬ悔悟に悶え、そして 皮肉な運命に奔弄される熱血漢 仮巻東吾の敷寄な半生と肉親への愛情と犠性的精神を描いた秋に贈る豪巨篇 脚本・小出 英男 脚本・小出 英男 松南國市 **嵩化**Ⅰ

佐藤紅緑が不杯の作品

本篇御觀賞中笑死の怖れありこんなお方は御注の時間のやうに笑はんぞと痩我一、頭の骨組のシッカリしてゐな一、頭の骨組のシッカリしてゐな一、があ方となっていま方ではある。

久古山芝益坊市 田屋近山水

高子美究英頓郎

演問原 作 七 波 佐 科多藤

と、犇めきあつた。

E

三月限限 社会 大阪綿布

関めてゐるのだつた。 大和屋を中心にして、四方を 大和屋を中心にして、四方を のを蒼ざめた顔をし ・--縁士の一人が



国 · 東京人網

2,55 11,30 3,20

大連·長崎·鹿兒島航路定期 各淡路丸(大連行) 鹿兒島發 長崎選 大連 一月十日 十二日 十九日 各淡路丸(長崎、鹿兒島行) 大連 長崎 鹿兒島行) 大連 長崎 鹿兒島行)

松下統科株式會社滿洲總代理店工事等松下統科株式會社滿洲總代理店工事等 紫雲社



宇 うどん そば 焼、井 割意 治 ばす 茶河 焼や 電話②三四四五番 人 商店 店

**二本興業日** 





省長會議け

る最終

り組白粱るめ差存支行滿採生の普以進活く、のり依定節な

宅對策、家賃

統制



天皇陛下,

気付かぬ流人達はそことに無舟を浮べて漁業にいる。 らせられた、陛下には磯のなるか三里の大瀬崎に莆御ある。

おふ陛下には附近漁民の守 をとらせられ給ひ側近の湯 をとらせられ始で御雪餐

44

回り、 の目的は國民を教化しの目的は國民を教化しの目的は國民を教化」「産業」の工を向上せしめるさらだ。 本として側家を関切するにありとで考へるさらだ。 本として側家としてのものに着ろかざるのに着ろかが満洲國のことや背ののため、本主義國家、園の古が満洲國のことや背ののおが満洲國のことや背ののおが満洲國のことや背ののおが満洲國のことや背ののおが満洲國のことや背ののおが満洲國の主義。

「大力とは、表述いる主義、「大力とは、表述いる。」

「産業」の二大地側を表して、大力とは、表述いるさらだ。 本として側家機を関してその物的生物を置いている。

「大力とは、大力とは、表述いる。」といる。

「大力とは、表述いる。」とは、表述い、大力を置いる。

「大力を関する。」とは、表述いる。

「大力を関する。」といる。

「大力を関する。」

「大力を関する。」といる。

「大力を関する。」

「大力を表しる。」

「大力を表しる。」

「大力を表しる



時負つ圓用和

「特負の圓用和

「持負の圓用和

「方式とした。

「方針に同様の面に、

「方針に同様の面に、

「方針に同様の面に、

「方針に同様の面に、

「一般の面に、

「一般のののに、

「一般ののので、

「一般ののので、

「一般ののので、

「一般のので、

「一般ので、

「一般ので、
「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、
「一般ので、
「一般ので、

「一般ので、

「一般ので、
「一般ので、
「一般ので、
「一般ので、
「一般ので、

「一般ので、
「一般ので、

## 水梁き伊辺西海岸の名勝のため一日を駿河湾も遙 長、蓮沼武官長等少数の個で表の一大の府、松平宮相、百武侍権を表に御覧ろがせられ、湯透の御經 御微行にて

、 郷業の中央権限の漸次的地方委譲、省長権限の擴大、 戦時經濟 國策に即應すべき民生の振興をはじめとし省政運用上の重要事項に関するであったが、十日最終日の協議懇談はこの點において省長側の自由調達なる意見の閉陳、中央の施政方針に對する大膽率直なる質疑要認が成めるものと期待されてゐる而して入、九兩日の訓示、指示事項に對する省長側よりの質疑は比較的本質論に觸れず意見の閉陳も大體消極、関東の施政施策方針に就き率直平明に設示するとよなり、この中央地方の行政最高首脳者條を交へての側政運用上の相互意見の閉陳も大體消極、直般の施政施策方針に就き率直平明に設示するとよるに省政統督首脇者たる各省長の決意と協力を要認するところあつたが、第三日の十日、直般の施政施策方針に就き率直平明に設示するとよるに省政統督首脇者にある質疑との決意と協力を要認するところあったが、第三日の十日、直接の施政施策方針に就き率直平明に設示するとなり、この中央地方の行政最高首脳者條を交へての側政運用上の相互意見の党族も大體消極、対策の施政施策方針に就き率直平明に設示するといるといる。 各部大臣及び各次長より訓示ならびに指示事項の懇切なる説る八日より開催された全國省長會議は八九兩日國政全般に亘

主要糧穀統制法主要糧穀統制法

集古温

関を擧げて勢力不足を告げ居り候折 関を擧げて勢力不足を告げ居り候折

成る「計

五日より施

制度創設の件重要特産物事管 小麥粉專賣實施

に関する

の招宴に臨した、午後、緊張裡に終始した、午後、緊張裡に終始した、午後、大時省長一行は中銀俱樂部における協和會橋本中央本部長、

遂行と国帯して各省長より 應答に入り最時經濟諸國策

は、なは待合の貨幣乃至ホテル及が旅館の貨室の加き一時的使のが旅館の貨室の加き一時的使用家屋は本統制法の適用よりにおいて統製の萬金を期する上から統制法の違反者に對しては断乎嚴罰を以て臨む態度を持してをり玆に家養の統制はいよいよ割期的段階に失入することとなった

上破爆于

統は無事

の四送」そま業橋う牛

見捨てられぬ友の屍 偲ぶ戦友の最期 敵前決死の匍逼 (--) 美談綜合座談會

の審職が況を披藤し、ついで、世別ので製に際しての吉富部職草のを製に際しての吉富部職草のを製に際しての吉富部職草のを製に際しての吉富部職草のを製に際しての吉富部職草のを製に際しての吉富部職草のを製に

悲壯、夜襲戦死の友情

数次に亘るり

松井上等兵

本介氏(日本領書)九八氏(日本領書)九八氏(海州石油會社)

ンラトスレ

酒洋和食洋純

嗜御の様皆も最てしてンラトスレ食洋のけ於に京新 斯年十二去過て於に洋南たしまき開を店るず投に好 食試御ず先へ冴の腕の尾松主店るせ磨錬りは携に業

すまけ上申ひ願おを程の負債御く永末てつ有

であるもの A 如くで 去る であるもの A 如くで 去る では、 も物らずアメリカで 既にも物らずアメリカで 既にも物らずアメリカで の他に周持し得ると放 であるもの A 如くで 去る

到米關係の是正

は避譲方針

三民主義と支那側民との闘いなものであららか。それははどうであららか。それははどうであららか。それはは現在でも三民主義とい名にそれほどの魅力を感じるるのであららか。このこも問題にされてよいであらもさうした變化の一つであらった考へられたりすることは事實でる。それならばこの度の修せしめて来たことは事實でる。それならばこの度の修せしめて来たことは事實でる。それならばこの度の修せしめて来たことは事實である。それならばこの度の修せないであららか。この際はないか。斯うしたことを考へてもいった方とである。

殿く民生の安定ならびに民心禮教、社會、保健等の行政は民生部の所管しまする教育、

第三國ピ

の根本方針とせるが戦時経の根本方針とせるが戦時経過以来最民の経済する件。主張の安定を施政所は建國以来最民の経済する件。

陳氏暗殺犯逮捕 「上海八日愛園通」本年二月 お長陳鮮氏を暗殺した犯人は 三月上旬香港へ逃避し行方を 三月上旬香港へ逃避し行方を

正であれば先づ大陸には ただ新しい支別のために もつとそれ以上のことが ちれるようといふことはわれらによ られるのであつて、もと ちれるのであつて、もと といふことはわれらによ といふことはわれらによ といふことがあっために を正の上に更に修正を加 のであっているのならば かあつてよいであらばないが でもらば

(計 權 全)

民生部大臣

訓示

によれば、新しい三民主 ころによれば、新しい三民主 と族の獨立といふことから大 ・大に改める、民権主義の が蔣介石一派によつて歪曲されてゐたのを是正しあくまで

**叫法部大臣** 

訓示

省長會議に於る各部訓示

チス黨記念祭

に

總統對戰演說

ある、ま

職業行政機構改革に関する。

冉び戦争方針を闡

三民主義の数正といふとと
が普通の問題として上拠されるに至ったやうである。それには在精衛の事める便正といるとであると報ぎられてあるに立ってわれらにをであると報ぎられてあたことであると報ぎられてあたことであると親近には上海方面になってもに二つの観點から考へは正されるのか。それといふ理論、設備に考へられて来たものである。対らず、に對していかなる時間はわれらとしては二つの観點から考へねばれての検討であり、もう一つは三民主義がいかなるあいといふ理論、設備についての検討であり、もう一つはなってあるかといふ理論、設備についての検討であり、もう一つは立つのを正といかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方と対していかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考で方と対していかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ていかなる考へ方を持ている。

に トラー總統は 後頭 撤尾 液園 に トラー總統は八日夜ミュンペンハ日 変質 記念祭に なる 再びドイツの 對職方針を に は み再びドイツの 對職方針を に は かんしゅう は かんしゅう は かんしゅう は かんしゅう は かんしゅう は の 対 は の が は の 対 は の が は の 対 は の が は の 対 は の 対 は の 対 は の が は の

の態度を攻撃し 英國が自由解放をその戦争 「国的として掲げてあるのは 軍なる口質に過ぎず間質は を設表した、彼いてドイツの 職争目的はドイラ國民の安全 確保と公平なる分配の保障された世界建設にあることを張

英國が平和を欲せぬ以上ド イッとしても最守機械の決 電を固めざるを得ず既にゲーリッング元帥に対して五年 間の長期職争準備を命じた と發表した、ヒトラーは更に ドイツの降伏の如きは絶對して五年 イツの降伏の如きは絶對に おける勝利者はドイツであることをこゝに確言し得る ることをこゝに確言し得る

本コンダ南國元首連名の、オランダ南國元首連名の、オランダ南國元首連名ののもとになされた打診的なのではないかとの見解が行のではないかとの見解が行のではないかとの見解が行のではないかとの見解が行のに扱ふかに多くの興味が行い扱ふかに多くの興味が

米大統領の

### 文化をも取入れわが関新文化をも取入れわが関新文化をも取入れわが関係を開らんとするもに関連を開いるところもを、とは知知のがあります。中すまでもない。 一次ののがあります。 一次ののがあります。 一次ののがあります。 一次ののであります。 一次のであります。 一次のでは、 一次ので 衛とがし狀衛まに及政りあ衣段も策威連翼なも化

業部大 出訓示

適 高島の活動とそ 一般の價値出

も本部所等となりたるに依受し又同七月部邑計畫事業受し又同七月部邑計畫事業

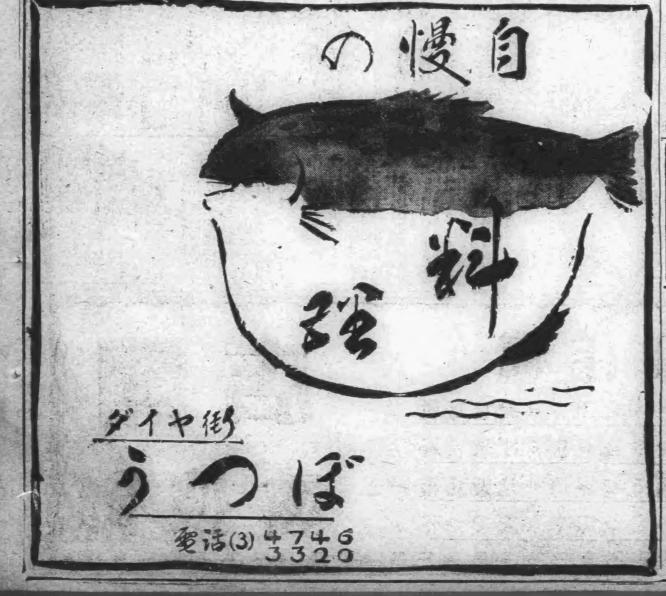
**交通部大臣訓示** 

新新菜 (位加) (11年2) (11年2)

りの題な分になる表等し俟は本、とに料ので全つ保な国でるせを意かこった。 とに料ので全つ保な国でるせを意かこった。 とに料めて全つ保な国でるせる意から、 一直 ではる各関りらうすぎてつ殆根閉・原則しに勢各のあ完計り炭・これし一てよって今の慶尚こと對各きど政闘・ふ態及を位力る要量當の・ろん之般はせては後協長本と共し位も現策係・大とが明ににがもの事情・として表している。

◆大連株式 (短期) 各地株式市及 場 4 後九 塩日

家氏氏た駒 とはが蒙氏 し五蔵響死襲



## 治安部大臣訓示

高島易斷所

廣告の御用命は…##!!-!!!!!00#~

に子いよ
げやみお 店で發売していります。 何れも定價五十錢。

お父さま、お母さま方。



関に餘念ないが、ことが宴の職に餘念ないが、ことが宴の別定に備へて大童のり経濟部物價料でも來春匆

#### の健康法は 低温生活に 冬の生活語る座談會

理的であらうか、即ち冬の國都市民への生活指針として贈る本社主催の夕冬の生活を設ました。 産者は別項の如く市民生活を設まに終庭の主婦として贈る本社主催の夕冬の生活を設まに然庭の主婦として薬所に合理化生活を具さに養験、また各家庭にも呼びかけて着々と成果を挙げつゝあるお馴染みの友の會同人である、和氣韻々語られる言葉は電氣、瓦斯、石炭、バス、生活必需品、保健等目前に訪れた冬の生活対からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問からその一つとして切り離すことの出來ない切實な問題である、市民のよき生活指針として贈るにふさだし

僭越でありますが御

高い敷金も夢

冢主様時代去る

がしたまでは良かつたが日端 共助法に依つて早速御用となり がある でしたまでは良かったが日端 大助法に依つて早速御用となり がある

一後三時頃所要

家賃統制案來春實施

致しまして、保養院の佐々 といつたやうな、多の所謂 といったやうな、多の所謂 問題、或は外部の交通問題

佐々 僣越で剛座いますが御許しを願ひます、さてその低温生活の意義とかいふやうなことを改めてどういって申上げてよいかわかりませんが、抑も低温生活と申しましても私達のいふのは只 無 茶 苦 茶に寒いのがいふのがより、高温生活とまして、満洲の多期…多にまして、満洲の多期…多における日本人在漸邦人の生おける日本人在漸邦人の生おける日本人在漸邦人の生おける日本人在漸邦人の生

でしまつて、無意味ではないかといふ気がして居ります。さらなると節炭生活といふことは密閉生活をして石炭を少く焚く、目張りを完全にして密閉生活をしたければならないといふことになりますと、私達の考へて居る低温生活と石炭節約 でしまつて、無意味ではな でしまつて、無意味ではな は切詰めた石炭はすぐ張ん は切詰めた石炭はすぐ張ん

いか、高温生でなる高温生でなる。殊にこの、殊にこのなることは皮膚において質温生でなくて、

おくことが子供に風邪を

治是處長村川五

始指導班主 別

今迄の習慣上ではどうもな ことになつて居るのぢゃよ

鐵新京保養院長佐々 **智院々長山口清治** 業庶務係長伊政

所小山內繁氏

へとしたことから色質に足繁 ふとしたことから色質に足繁 ふとしたことから色質に足繁 公金の中から四百四餘を遊 博克圖から逃走

博克 とこれである。 ゆい果してどうにも思案がつ なく非個してゐたものと判明 なく非個してゐたものと判明

金泰で萬引

ることになった

東宮大佐散り

はやくも三年

開拓の父を語る中村部長

新京鐵道警邏隊では左の加鐵道警邏隊異動

ピラ泥棒

八組を逮捕

本も 去る昭和十二年十一月十四日 が催されること」なり、みさたの他 歌史に輝やく杭州灣敵前上陸 を未亡人も遙々東京から渡浦 のん 歌史に輝やく杭州灣敵前上陸 を未亡人も遙々東京から渡浦 のん 歌史に輝やく杭州灣敵前上陸 を未亡人も遙々東京から渡浦 参加するが、大佐が満洲にあつて投じた、現在の間折を中村満拓經營部長 に開拓の一石は今や百萬戸、 に聴けば感慨漢げに語る 東宮さんは寅に雄大な抱資 と經輪を持つてるた方でした、現在の間折地の分布を 見ると殆どが北瀬にあるが 東京から渡浦 都 でる十四日故大佐の三年忌を まつた浦洲の値は大したも 前 かった して盛大な鉄工式と追悼者 のではない、と言ふことは 科

るときは苗代に神酒

仲間割れから暴露

東五馬路附 に散縮してみる事を自由した 東五馬路附 に散縮してみる事を自由した というれる前 五)才他金(一一)呂小百順 ※ 五馬路附 ・ 一 一 といる ・ 一 の 一 味 九 名 か 西四 と 一 で、 七 日 午 及 び 軍 用 路 作 楽 設合 」 南 側 嫁 瓦 小 屋 か た、 七 日 午 及 び 軍 用 路 能 下 楽 設合 」 南 側 嫁 瓦 小 屋 か こ が ま か と か こ す 他 金(一一)呂 小 百 順 い づ れ も 前 一 五 ) 才 他 金(一一)呂 小 百 順 い づ れ も 前 一 五 ) す 他 金(一一)呂 小 百 順 い づ れ も 前 一 五 ) す 他 金(一一)呂 小 百 順 空業、窓ガラスの破壊と云つ 人残らず検撃して引上げたが これ等一味は振つ沸ひ、押込

出來上つた新國定教科書八卷

(漫畵は今村チカ るのであります 辛判吉(三二)と云ひ、萬引生れ寛城子軍用路新安屯居住

東京女子美術工機學校々長岡 日満女性文化の交流融和並び 日満女性文化の交流融和並び 日滿女性融和の

かほ氏は在満中なほ氏は在満中

-1110

常智犯で餘罪追及中

在滿半島人募兵 總督府側でも期待 七日附で巡監の異動を破令し 同四平衡分所長を命ず監監 新京警護隊公主機分所長を命 東大響連除巡監 田中 一男 新京響連除動物を命ず 東大響連除動物を命ず 新京警護除公主鐵分所長巡 古本買入「あきを買って

新智識でし

第一條面一

嚴松堂古典部

(3)

五三

ダイヤ街 電③五六〇九

アコマームレントゲンにも勝る 專賣 家庭用新型宣傳中特に 超短波治療器とは驚異的卓効を全世界の醫學 に確認さ 好評特價提供効果宣傳賣出し中 巡廻雜誌 物一切 C型六十五圓を特價六十圓、 新筵炭米 n te る最新最鋭の 新京六馬路 兩極丑 型八十五圖を特價八十圓 治 握 療器 で 占 咽 \* 部品藥



は午前九時から は午前九時から

、第二放送、積墨素材の開 、第二放送、積墨素材の開 、放送率放並に障害の發生 、放送率放並に障害の發生 の固苦しいものをくだ。 ・の固苦しいものをくだ。 ・の間苦しいものをくだ。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・なほと他人をは此のほ。 ・のである。 ・のである。 ・のである。 ・なほと、 ・なは、 ・ななな ・なは、 ・なは、 ・ななな ・ななな。 ・ななななななななななななななななななななな

放送局長會議第一日は九電々放送局長會議第一日は九電々放送局長會議第一日は九電々放送局長會議第一日は九大會課室で限備、本社側から前田被送中村技術兩部長以下關係放送課長、各放送局長等四十餘名出席、前田放送部長の接 

一条の現金一千面を横領、 で くだけた白話文で 建國精神を昂揚

文を綴る。

一つたのだ「満洲の女學生では 貴女方が先鞭ですよ」と船の 人が活してゐた、日滿連絡の 「感を今さらの標に覺える、終がゝつた波上に小雨が丸い波 の朱色の燈合に灯がともつて るた港には、はしけが一ばい

なが少しも無理もなくよく 和してゐる、雨に待がぬれて るるせいか全體がしつとりし て落付いてゐる、扉に着いなれて であるで、厚に着いて

を別の場にうつ

質及び少量の繊維を含み、どの主なるものである、このほ

遠はあるが、一般に糖分に富

成分は品種によつて多少の相ス、インドなどの種類がある

高級品としてデリシャ

ために、理論不足を來ために、理論不足を來ために、理論不足を來ために、理論不足を來ために、理論不足を來ために、理論不足を來ために、理論をとつですが早く年をとつたし、生水をのむことのですることなどに氣をすることなどに氣をすることなどに氣をすることなどに氣を

カルシウム、マグネシウムが 分のほか骨成分としての癖や

A、Bと少量のビタミンO タミン類では微量のピタミ

相 おいしいリンゴ酒を作るには 今度は口まで一つばい液を入ったけ除き、おろし金でおろし 社をして凉しい味下などへ貯ます。これを布巾またはサラ へます。これを布巾またはサラ へます。これを布巾またはサラ へます。二、三ヶ月で美味しどで姿に縫つたもので濾し、いリンゴ酒が出來上ります。と 変をに縫つたもので濾し、いリンゴ酒が出來上ります。と 変をに縫ったもので濾し、いリンゴ酒が出來上ります。と 変をに縫ったもので濾し、いリンゴ酒が出來上ります。 一般ではいけません)そのまと (教験として高しい味下などへ貯 に炭酸ガス、有機酸、エキスを 情にはいけません) そのまと (教験として高いいし、性かのが 綿ではいけません) そのまと (教験としてもいいし、性かのが 綿ではいけません) そころで上 すし、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、エキス分はアミノ酸、

成分 はアルコール少量 い物としてもいいし、性かの すし、エキス分はアミノ酸、エキス すし、エキス分はアミノ酸、 コハク酸などが溶け出てよい

魔に洗つて皮ごと食べた方が いから便秘を防ぐ目的には な

り、生活力が旺盛になり、と活力が旺盛になり、

生食のほかジャム、砂糖煮、サにも用ひられる林檎は種類は多いが、紅玉といつで鮮かないのお菓

中に含まれてるる消化酸素とにより、これらは同じく果肉により、これらは同じく果肉により、これらは同じく果肉により、これらは同じく果肉

腸作用に卓効

共に食慾をそより消化を助成する効が大である、また皮を割いだとき褐變するのは酸化 が素の作用であるから、食鹽 が事が出来る、林檎には尚整 り、急性脳カタルなどの場合 に慶々用ひられることがある

なさい

果物林檎

0

知識

最も普通であります、このほしの紅い斑點をもつた種類が

榮養も豐

富な

美味な林檎酒

家庭で手輕に作れ

#### 精神的にも肉體的にも氣を付け さを失 は

新鮮な果物、野菜の生食など て居ります、日本は地勢の脚まり、セロリー、レタース、まで寒帶から熱帯へとつよいものトマト、大根、さつまいもの て居りますから、いろいろなと生食が美容の上にはよい とは酒をのむことをいけないと よい食べものです、なほ女で ることは幸福であります、中にとよい食べものです、なほ女で ることは幸福であります、中にとよい食べものです、なほ女で ることは幸福であります、中にとれてゐますが、フランスあいたよくことです、三度の食まれてゐますが、フランスあいたよくことです、三度の食まではでは女の子にばかり、果 事のうち朝食だけ果物にする 容にのませるといふことをきい ひます、第三の者がへり法と

を未然に防ぐことが効果的で とによつて、その人の皮膚の 上に相當の効果があらはれて まるります、斑鴎やしみや綾 ドイツの銃後生活はどうなつ てあるか?ドイツが今一番力 てあるか?ドイツが今一番力 であるか?ドイツが今一番力 で動詞を入れてあるのは銃後國民 に對抗長期で頑張つて行くに は国民生活のうちに絶えず希 は食糧である、ところが今全 がイツを通じての最大の悩み は食糧でなく等働力の不足で ある、農民や工場労働者から ある、農民や工場労働者が開 間いたところでは既に三割か ら四割までの勞働者が留 がいたところでは既に三割か らのである。と言ばれるこ

勞働力の不

注意 ては常にみだしなみに すざの方には大

高味をつくり、轉化糖も消化 のよい糖分ですから、何れも **へ更に新聞紙などで包むと一を選び、パラフイン紙で包み** 林楠を貯へるには無疵のもの

に置くか、箱の中へ乾燥した ・ と可なり長く保ちます、尚 ・ なと可なり長く保ちます、尚 ・ す。

層よろしい)箱につめ

三、一〇(大道) 經濟市況 三、二〇(東京) 經濟市況 日、〇〇(東・新) ニュース (東連報 四、四〇(大連) 經濟市況

運動會 行) 伯林國通

つた。

の個みを解決するためにポーフランドで捕虜にした兵隊や市 民等約六十萬を工場や農村に 民等約六十萬を工場や農村に 民等約六十萬を工場や農村に 民等約六十萬を工場や農村に 民職しで勢働力の擴充に努力し 民職しで勢働力の擴充に努力し 民職して多のボーランド兵 にも二十七名のボーランド兵 にも二十七名のボーランド兵 常に増加したよめ各工場とも なが監視のドイツ兵一名とよも 大は百六十乃至二百マルタと 日本がは百六十乃至二百マルタと 日本がは百六十乃至二百マルタと 日本によったが、職争勃登以 水インフレ防止のため賃銀の 日本によったが、職争勃登以 水インフレ防止のため賃銀の 日本によった。 三笠校四年

食糧飢饉はまだよい

藤澤英治

どうすれば良いか

つて、その中に小雨もあつろおもしろいものがブログろおもしろいものがブログられて、跛ひられて、跛ひられば、跛ひられば、跛ひ をおどろく程たくさん食べた でおどろく程たくさん食べた。 ではお母さんの社で御はん をおどろく程たくさん食べた。

慢性

胃腸病

法

六、二〇(東京)コドモの新聞 六、二五(奉天)趣味講真「 本州の陶磁器」山下泰蔵 七、三〇(東京)圏民歌語( 七、三〇(東京)圏民歌語( 七、三〇(東京)圏民歌語(

一一一つたがとうとう四等であつたが、 その次にえつ慶分列式があった

特ちに特つた運動會の日が で居るが東の空には貸赤な朝 日がのぼつて空の雲を赤くそ めて居る

H 5

火線を守る水兵 「東京よりの

回 (レコード) 唱歌 ( ) 二〇 ( 大連) 婦人の時間 ( ) 二〇 ( 大連) 婦人の時間 ( ) 五〇 ( 新京 ) 野連 ( ) 三〇、五〇 ( 新京 ) 野連 ( ) 三〇、五〇 ( 東京 ) 野連 ( ) 三〇、東京 ) 野連 ( ) 一、 東京 ) 一、 東京 ) 野連 ( ) 一、 東京 ) 一、 東京 ) 野連 ( ) 一、 東京 )

胃腸

薄と見て敵の主

時的にあらず る極大の存む解節を解散する作

薬腸胃の新最

活潑となる! の働きか



の人の性に合ったと 言ふ論ではなく、 す。しかしたはトモ 閣作用なく習慣性とならず 整症は後用分が好適です。

でかとかを一時的に良くする薬を一問題であると言はれてきました。 でからないからです。

「然か、離やけとか、背解とか とか、整原を治療することが概故
が憩いと要が、自然の は膜に生じてある臓臓とか、炎症
であると言はれてきました。 

関便ではない。 変になるといっ。 変になるとい。 変になるといっ。 変になるとい。 変になると、 変になる。 変になると、 変になる。 変になると、 変になる。 を、 変になる。 変にな。 変になる。 変になる。 変にな。 変にな。

のだに、特に サンは祝のや

おいます。 を表して多年古心研究の おいまして多年古心研究の のます。

青いのでは、最近は名方面で認識を高め、盛んに賞用が発見され、最近は名方面で認識を高め、盛んに賞用が発見され、最近は名方面で認識を高め、盛んに賞用が発見され、最近は名方面で認識を高め、盛んに賞用が会してきました。

稳、 今ま 生 -3 でと違ふ治

二3章目三町笠三

か

L

をがつょくとか、一田に五回も大でがつょくとか、一田に五回も大戦には、一部に対し、一田に五回も大戦に対し、 にえず野野社殿が刺戯され、どうしても

ぶとんを持つてお母さん達の をだらうと急いで用意して座 く

小京無線

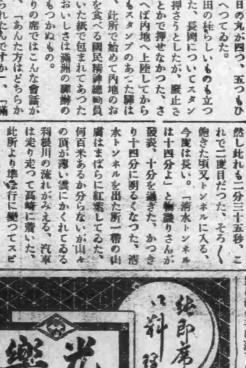
指揮

方の距離は百米にまで迫つた部隊はドッと攻め寄せて死た

然し此れる二分三 されて、今や虹日路の要送も

00

がは



屋根の間をくょりぬける機に さな人はお氣の毒な位、向ひ 合つて腰かけるが邪魔になつ て仕機がない。 ため合つた薬の間から鈴な りに實つた柿が製、く綴いて でもつった薬の間から鈴な でもつった薬の間から鈴な でもつった薬の間から鈴な でもからつた薬の間から鈴な でもからかに地平線を見渡い をはあまり望まれない、茂 世かこましい感じだつた、水 世が遙々と緩いてゐる、二十 にせいこましい感じだつた、水

通りしか刈られてるない、だ 管綱の非常時色一段と後い帝

唯一人残つた見

型朝五時半起床船は少しも ではない、対陽は海面に 黄金の波を載く、波は更に無 く近來稀な静けさとか、金色 に輝いてゐる東の空、東方遙 である東の空、東方遙

は、九時半頃漫園があつた。 は、九時半頃漫園があつた。 は、九時半頃漫園があつた。 は、大によったが、あとは素通り だったので早くすんだ、それ より船内見興があった。一等 手でペッドルの様なものを かしめ、雨の足でしつかり支 の能でしてあると思ふと、固く雨 のおばからいでデッキゴルフ をによってであるのが感じられ、 のがであるのが感じられである。 をには、この でいただいた、映畵が済むと、 をには、この でいただいた、映畵が済むと、 をには、 で見せ をには、 であるのが感じられ、 のおばからいでデッキゴルフ をには、 で見せ

中に浮き出して來た。 ・中に浮き出して來た。

をさしあげたのが見えた 検疫があるといふので皆一 列に並んで坐る、質白い大き なマスタをし聴診器を持つて

老术だつた、竹飯の中に草草がしい壁がする、深みのあるがしい壁がする、深みのあるがしい壁がする、深みのあるがしい壁がする、深みのあるがしい壁がする。

越、高崎線沿線景觀、信越、

同上油

四日午前七時新潟港斎、四日午前七時新潟港斎、

で、皆鍵巻の上にオーバーを で、皆鍵巻の上にオーバーを で、皆鍵巻の上にオーバーを 変ならして器かにすれ遠つて がさらだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだが、遠くにまたたく ださうだった。でも で あっている と 古米 ど ころではなかつたやうだつた で しまつた。 でも は なの で しまつた。 でも は スから

り金色の太陽がばあつと光を 放ち出した、懐しい草ぶきの 家が雨にらたれてゐる。その 家が雨にったれてゐる。その

はず洋車と云つて赤面した人はず洋車と云つて赤面した人はず洋車と云つて赤面した人はず洋車と云つて赤面した人はず洋車と云つで赤面した人はず洋車と云つで赤面した人はで流れる、馬車の無いのを乗いたり、

錦ヶ丘高女旅行團

**指賓の水が大きくゆるやか** 

題して『火狼を守る水兵』本 で、遠に無事虹口路を守り迷 で、遠に無事虹口路を守り迷 で、遠に無事虹口路を守り迷

りの家やの後には光が

れた日を休めてくれれ、河、いちょく等なで、万

雨の中

で朝市が開かれてる

一の剣威をまへずりながら、これを を観ら歌のある青陽内の有機素 と起き歌のある青陽内の有機素 と記しませる作用。

す セラがからお乗めします。 たっかいの作用が会ませの事際をとってがをいるというです。 サンによってがをにおりの事務をとる。 からないのです。

動 (月日に立つ) 白鷺さん たの催眠幾何處にあっ たや、博士、まああなた方 おや、博士、まああなた方

あなたお酒に醉つてるんで

商

それぢや僕

、一寸符つて、もう

手記と、一般的記述との両者を混へた行き方で書いてある。ひたむきな教師の氣持、子供とその母の変、よく書きないたがうした行き方では、やはり一つの限定された文学のであると考へられるのであるがどうであらら。つまり文學一般である替りに、これは「小學校教師の文學」な文學一般である替りに、これは「小學校教師の文學」なってある。

は酒を注ぎ白露に渡す、後 る精神の危機を押し切つて、 現なはかつと食む、そして直 あれだけ、表現の美さを示し たで なはがつと食む、そして直 あれだけ、表現の美さを示し あて なる、彼女はやはり鮮麗 ふことに對して、何よりも私 り目を寒ふ服を着てゐる、勢 は祝福を贈りたいと思ふので かりひんでやつで来る。) ある。 ない人間の恋劇がある。 詩人 連はそんな人間の心情につき あたつては轉び、こよろなく ことばなく、彼れは無を感ず

きてひぐらしに始まる彼れの きに数に常に美しい感情線を示し と 生きて 生 さんだことであらう。彼れは解けぬ歌とい なると、彼れは解けぬ歌とい な、多ての詩人たちがこの解 がこの解 がこの解 がこの解 球を照らし、解け 動あ TA

中本の力作であると言ふべきであると言ふべきであると言ふべきであると言ふべきであると言ふべきであると言ふべきであると言ふべきである。 一人の貧しい家の一人の貧しい家のして形式は教師のと混べた行き方で書いてある。よく書

照らしでゐる

らな虚無の光を投げてゐるの 立つて眺める、そこに何を云 立つて眺める、そこに何を云 もといこほり、血も冷えるや 地平に立つて頭の上いつばい 地平に立つて頭の上いつばい は中び上つてゐる夜の蒼穹を 見上げる、そこには星が思意 歌會詠草

れたわれのみおろがみ 神社へ父七十の齢いま 大塚新京あかし

歡迎  間 けが僕の嫁になる資格があるんだ! ~ とね(彼は白露の笑ひを期待してゐる、だが!) 露々、驚々、どうして笑はないのり

(態度依然として) 何も (變に思ひ)まだ飲むの まだお酒あつて?

番 どうです、僕は君によく してあげるでせう。ちやあ んとこゝに用意してあるん だ。〈彼が酒を注いでゐる 時、右の部屋から顧入奶々 版を聞いたのは確か二月頃であったか、そのとき私は坂井 あったか、そのとき私は坂井 氏も遠に詩集を出すのかと東 る深い感慨にとらはれたので る深い感慨にとらはれたので あったが、それから中年たっ て、坂井氏がいつも云つてる た詩集は清麗な髪訂を持つて 窓に出來上つた。遠い地平を 変徴するかのやらに太い水色 の穏が眞白い表紙を飾つてる て、そこに大きく書かれた崖 を手にとつてみ、ことを手にとつてみた。

れた十七篇の詩を今更らのやりに新しい思ひを持つて一つである。こゝに編までした。思へば数のこと歌、蝉の歌に始まる彼れの辞生活は短いものであるとはいへ、又それだけに難しい途でもあつただらう。凡ゆ する 位置は英麗だ、 つてしは 選く 打ち排

無であり なほ 無である 動か以屋ら一寒く地球を風 うなづく わたしを だま

本、むとき素材として二つの 学統に分けることが出来るや うに思はれる、それは郷の歌 壁の歌、沙漠の積物なめくぢ 歌、風の歌とつょく一勝のものと、今一つは蟋蟀、海歌、悼 歌、風の歌とつょく一勝のものと、それらはひとしく坂井 こに人間、坂井としての南面 ではないのだらうか。前者に おいては彼れは市井にうらぶ れた自己の歌を、ときには自

本地質調査所要報(九號)
「東邊道の地質」その他(大陸科學院地質調査所)
「統制経済の現状と生活必需品會社の役割」「滿洲に於ける特殊會社要體」その他(本天商工公會)

△地質調查所報告(九六號) (大陸科學院地質調查所、 二四) 「正整性」)也質 「工程」

し附一編刊着本 へ相部輯は望標 係成御局本の紹

は 七つの歌を支へ

この掌

よふ哀愁

冷意は

といこほり

血は

生つの星を 変へる その

と云つてる

そこに以外な傷恨を發見するたとへば北斗星に於いて彼れが職はうとしたものは何んであつたがららか。 その順近な星は 位置を運

れでいいのよ」と言ふんださう言ひながら、もう涙をボーく流してるんだ、しかし(白霊を引つばる、だが彼女は振り向かぬ)僕をが彼女は振り向かぬ)僕をが彼女を見ての管。僕はこんな風にして彼女を見てるたんだ、して彼女を見てるたんだ。「下を向き)僕は言つた。「下を向き)僕は言つた。「下を向き)僕は言つた。「下を向き)僕は言つた。「ボースを大きで、「かこの世界中で、陳白霊だがこの世界中で、陳白霊だがこの世界中で、陳白霊だがこの世界中で、陳白霊だが、この世界中で、陳白霊だが、

割小姐に會はなかつた?あの人がね、僕に結婚するつの人がね、僕に結婚するつたんだ、しかし僕はあの人に云だ、しかし僕はあの人に云だ、日本當に僕の所に來たいのかね?」つてさ、あの人は俯向いて、とても可及さうな様子をして、泣きで「ヂョーデーあなたが 質に愉快なんだ! 離ってるって? 一方日僕は たがっで

されるだけど健眠薬は何處? あるわ。 白雪さん、あのね、今ほし を言つてるのか判らないわ どうしたんです、八折々 (胸に手をやり) 私胸が 順

坂井艷司詩集 **やく言ふ笑摩が停はつて** 来る。

でも胸が痛むの、私さきにドクトル社の薬を少しいただかなくちや。 でも、この悸氣を聞いて 頂敷、ボトンボトン躍つて るわ、自分の胸を押へ苦し げに)あら、あたし少し横 にさして質はなくちや。 少し話しませんが。 めりませんか? れは自身の豊かな感受性をもれな自身の豊かな感受性をもたのではあるまいか、彼れにあつて藝術への叕足は又それだけに必然であつたのかも知れない。 私たちは彼れの傑れ た感情の美しさを 歌議に

崖つぶちの

いた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央につけた時人が、大陸の中央に な歌を与たはら、と云つてある。我々は彼れの新しい面の開拓とおほらかな詩への期待の四六倍版、フールス紙使用へ四六倍版、フールス紙使用 位置し亜細亜の空にお

M.

だが後の一勝の詩篇においては非情の精神を持つて自然に對し。美しい詩人の魂をもつて敬つてゐる。ことには興立した精神の限りなき悲しみがかくされてある。例へば地での門において

が私を怒らしたのです? たれはね、あのいけないはもうこんなにやさしいでせら、それがこんなにやさしいでせら、それがこんなになつちゃ三日間ぐらる眠れはしないわ。少し健眠薬を貰つ くるり向ふを向き入つて行いよわ、お二人は仲好くこいらつしやいへ 付つてゐるのである。そして 被れはひそやかな愛情をもつ でぢつと我が身をいたはつて あるのである。傷恨といひ、 解けぬ歌といひ、それは一體 なんであつたよらうか。しか しその事について私は何も云 ふ義務を持たない、そして又

いか。虚弱な肉體に育つた彼 してはならないのではあるま してはならないのではあるま もないことであ

のすみでのうのうとかすをさらしてとか、そこで彼れは彼 ちしてとか、そこで彼れは彼 ごつた醉眼で俗世間をみつめ る。だが、胸にすむ複雑な人 間共のやらに彼れもそのやう ちばしをあけてざらぶのみえるとか、沙漠の植物でげへ、けへ、とせきをし、めろめろととぎすましたしんけいめろととぎすましたしんけい

俗世間の中に身を積たへた被れらの詩篇から彼れの内體の 見ひを嗅ぐことが出來るので はあるまいか。たとへばこの ちぢのをんなたちはあかいく ちばしをあけてざらぶのみえ

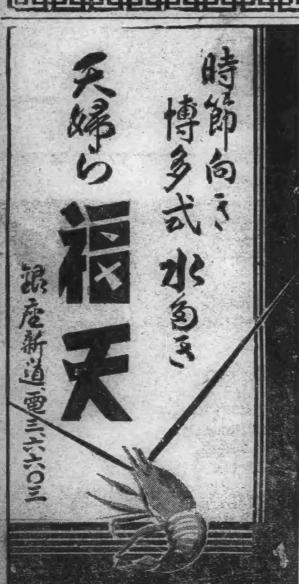




其他材料一式 無京橋町三丁リイ人かわ 兒玉疊商店 13日日九〇〇

































・・代強を美・康健の膚皮 品需必の活生るす現表を節禮







水田一等兵

の奮戦

月七日飲

大命だ 友軍が凌撃の際最も多くの確要の際 らう』と歌友と語りつ、陣地

の集中射撃をなる。実角地路である。

でうけることが高地中で

ふを限

h

の命

國境戰勇士

さんよ有離り』の摩が咽喉をついて出るでなくては成し遠げ得ない所謂無敵皇軍の歌果が電波のやりに傳つているごとに一億同胞の腹の底から『兵職でなくては成し遠げ得ない所謂無敵皇軍の歌果が電波のやりに傳つているごとに一億同胞の腹の底から『兵職をなくては成し遠げ得ない所謂無敵皇軍の歌界が電波の歌りも停戦陰定成立によりばつたり止んで滿雲西部國境ノ祭に留する飛繍の爆音、地輪を描がす歌車、重砲の唸りも停戦陰定成立によりばつたり止んで滿雲西部國境ノ

短劍を引き抜き

四名を刺傷

と出席書職週間を實施、全後一、京青年學校では目下入趣動務

| 出、各家庭を訪問或は屋帖者

事核入學 勸誘に大童

釈

雇傭者の協力要望

奥さん方が

. 11

盜

難防

會

光づ空巢狙ひ

世籍の八日陸海軍省恤兵部に起席一線将兵の勞苦を偲ばさ起伐子殿下には酷寒に向ふ大起後に向ふ大 殿下の御仁慈

れ體海た下み 振ら れてロ

割腹自殺金

さんかく通は也で今更振るとはあまり情がなさ過ぎると情報して彼女を前に面當 の智護自殺を闘つた男 九日午後三時頃城内新天地村 理店和順堂相へ妓女金蘭(二人)の部屋からたゞならぬ金 が開えて来たので吃意したボーイ、同様らが駆けつけたボーイ、同様らが駆けつけ

借

迈

金由

加

3

9

東京四八三八・大五

返

品品

自

**覚さらとするや危しとみて** 

動車

蒙集

んとしたものとみられ本署に 留置したが、最近頒々と出没 する慣刑事を貢似ての行為と 目されるものゝ悪質極まると になりすまして何事か爲にせ 名=で、正氣にも拘らず刑事 名=で、正氣にも拘らず刑事

お 切 十二月十五日限お 前十七歳より滿十三歳まで 滿十七歳より滿十三歳まで

奉天東大管型完請用紙は郵券四

軍樂瀬部隊

お詫び

係機關と懇談 橫溝情報部長關

與安師及本部

雇員要員募集

組彩數票

一來月から數增加

土號登場

民般

第五回發行を行ふこととな

東出しとなるが設行機定額は まる六月競行に求いで今度は 第五回目、十二月初旬からボーナスを狙つて興銀から一齊 新彩票の稀號は王號であるので此の結果來年の一月から一萬圓當籤の果報者が一人となる譯、 在満關係機關と情報連絡のた は八日午前午後日滿軍人會館 に於て関東軍、大使館、滿洲 で選談した、十日午前七時新 京飛行場接日滿軍人會館 大使館、滿洲 大使館、滿洲

、中等學校卒業程度
(日本内地人男子)
一、兵歷を有するものは優遇す
一、俸給七拾圓以上百圓迄
右希望者は來る十日午前十時迄に本人自筆の履奮
集體六年十一月入日
「集體六年十一月入日

ます

本日より上映致して居り

の為延着致しましたが

「殘菊物語」は列車事故

卅萬枚の三百萬圓也である

檢票員事務員募集

高側買入電路等上中古を181大小各種在面182× 工業家額有機数セフト卓荷子色の大乗第10セ 大乗第10セ

機家 越具

器什

新着は京とで野京した 新着は京とで野京した 新着は京とで野京した 新着は京とで野京した 新着は京とで野京した

一、格賞 高等小學校卒業以上の學力を有し身體强健なる日本內地人 十一月十五日 一、と切 十一月十五日 本內地人 本內地人 (は市立病院)を添く申込まれ度 (重集者)を添く申込まれ度

十一年餘譲復し地坪五十六年餘建坪三地坪五十六年餘建坪三

展天暑の小林

賣

防寒の

A IS AL AS IT AS A

田 省 芸

純毛シャツ 御用意に 第3三六六七番

等退方法を勉强

通ぎ多大の成果を収めて散會 自信を得たものと如く同四時 自信を得たものと如く同四時 刑事らから空単 常祖の撃攘策、

られのか 研 英毎 た 更を 責らのや月 に十出来した。

ら更に五萬枚を増強して九 の責由しとなつてゐるがこれを十二月費出しのものから辛號まで入租四十萬枚 から辛號まで入租四十萬枚 から辛號まで入租四十萬枚

お歴々から秘訣傳授

技佐、稻垣技士は大陸その事 資を認め正午休憩、引観を午 後一時から收賄者側産業部局 官山元陽二郎(四〇)産業部局 自山元陽二郎(四〇)産業部局 自山元陽二郎(四〇)産業部局 が林英雄(二九)の審理が行 はれたが小林は林に對する贈 はれたが小林は林に對する贈 をなした、かくてこの日の事 をなした、かくてこの日の事

れが響魔協力しつ」あり學校 とくに就學の義務生徒に對し とない、 とない、 とない、 は市内各派出所より通報ご れが響魔協力を要認されてゐる 當局を痛く感激させてゐ 夜業手當を試成金 東二條通七九桑原商店々員西 東二條通七九桑原商店々員西 主桑原さんから貫ふ小遺を書 になつたので九日午後八島通 になつたので九日午後八島通 になったので九日午後八島通 で三十個 で三十個 で三十個 で三十個 で三十個 で三十個

收對策によつて所期の效果を

物資配給

對策

10

1

日熱的討議續

商工公會總會(第三日)

本は八十八パーセント、田席承は約五、 本は八十八パーセント乃至九 本は八十八パーセント乃至九 本は八十八パーセント乃至九 本 国公剣は九日午前十時から新 京地方法院第九號法廷に於て 栗本審判長、眞田檢察官、横 一部記六人の事實調べを行つ 一が記六人の事實調べを行つ 產業部疑獄 第一回公判 有の疑獄事件第 横

各特殊會社との懸

水道修理に

B

30

が足りない

一大学 では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)」では、北に行けばマダく)といった。

質地試驗公

(日 程 金)

嚴寒

カッカニーテ株式會社で製造してあるカッカニーテは高数 ・ 本を整稿して機能で議合 ・ 企建等物の内外壁、天井、間 性切、屋根、床等に使用して 便利であると重要がられてあ るが同社では九日午後三時か ら北安路天理教空地で同品の 耐火試験を公開

高い に見た 動は がらがら 退撃兵人と兵器 で見た 動は 関を

折柄係員も充分配し得

人口膨脹に對し人的資源 道で配置してゐるが、國道を配置してゐるが、國

である、注意事項とし 数市民の目覚と善處を

一、女子打字員、今1とスと一若一名の単版あるものにして打字に機能なるものにして打字に機能なるものの単版あるものにして打字に機能なるものの単版あるものにして打字に機能なるものにして打字に機能なるものにして打字に機能なるものと出頭組成版。

湯タンボト寝爐

商店

THE BUR AL

要望してゐる、市公署高橋水水等を注ぎ尚且不能の場合は、水等を注ぎ尚且不能の場合は

君『カイロー』で言ふんだそ うだぜ、一枚が十五頭、二枚 で三十圓さ、満人にやらした が工費二圓……」「足を見て くれ、この靴カバーを、進かい

所

町

堂

月

十十九 日日日

<del>1</del>37

畫

夜

順を襲つて▼「この標毛は

永田一等兵 地はまるで別人の如く阿佐羅 神はまるで別人の如く阿佐羅 で別人の如く阿佐羅 の話

銃小隊

またも二十 利事 九日午前一時頃店を開めた篠 か枝町四ノ二八朝鮮料理平南 館方の裏戸を「開けろ開けろ 一と叩く邦人があるので店主 朴さんが出でみると作の男は 本さんが出でみると作の男は 大きの裏にである。

道科長は語る ・ 大選を下さる ・ は直ちにお知らせ下さる ・ は直ちにお知らせ下さる。

と原温 南の観響 松田田田

一月、二月となれば後氏何を をなのを知らない、さてく ちなのを知らない、さてく らなのを知らない、さてく

催NOI1

太

競技、刺繍、フィレ等解人商 小 葵 珪 瓶 蒸製前後のい 陶と其 錐 脊 種 曽 萱 小 品、 煮製前後のい 陶と其 錐 脊 種 曽 萱 小 品、

翡小骨砚書 翠裂董墨畫

冷笑味たつぶりな

何らなくなつてきた 心ぶんに虐みたい欲 のでなってきた

け、砲弾船尾族桿に命中す

るのだ。 をまべに黄浦江の岸で嗅い をまべに黄浦江の岸で嗅い

虫

美郎

态作

列車發着表

4

ブ印書

所言・八書



人に詰めて、ふんわしたなるだらう。明日 いなるだらう。明日 かしがこの後、

「大ありさ。あればこそ、君シャルパンテイエが云ふ。





使 前方 +七三一九八七十八八七十八八十七三十九八十七三十九八七十二十八十二十十五五十十五五分分分 分分分 分分分

好四路店で限る品 となさざる品



廣告の

御用

命は

MOON

今日了二

カ 術美業商 条 圖 構成社

が、東東 窓 窓 県 連 機店 倚 動 短 流 品 大 安 高

はなつさ 宋松接骨院 はねつざ 辨**慶整**骨院 網院東正門前 話金融

爱化学 就反賣

△△△△△△△ 白白前 ⑥ 吉羅圖吉牡吉清 ◎ 城被郭 白 林準們林江 卍 圖

女中女給事務員ポーイ其他女中女給事務員ポーイ其他

央通り

銀方京路 里言 大龍

非 高店 市野町二丁目

州京東一條題五六京東一條題五六

刻あんま 

古光堂療院 古光堂療院 能 機能 被藥安心散 被藥安心散 古光堂療院 平 授 規則書進呈

語タイピスト養成 高價買 電話及金融





滿社

町 集 小 八 南 店 東 小 八 南 店 東 小 八 南 店 東 小 八 南 店

看 板

わかもと

あ京吉藤町一丁目 お茶道具は

松意 程が格の酒蔵

簡易:

あちゃ の資出与終記を保管、親辺の正大倉庫設備







兵隊さ 率増進を妨げます、當店に眼鏡全般 設に鍬を振ふも目に異常あつては館 事務を執るにも勉強するにも大陸建 皆樣眼鏡の調子は如何ですか? 他種々収揃へて御座のます 又双眼鏡。望遠鏡、磁石、擴大鏡其 御相談下さい詳しく御説明申上ます ん五分割引致します

定指御科眼院病立市

古本買え 古きを費つて 新智識を!

嚴松堂古典部 日本(3) 田本人田田二日



禮 婚 裳衣・ラツカ貸 術顏美線外赤 り通街ヤイダ

階二ルビ松者



費任を以つて御修理申上ます

て語りまず當店に御用命順機損及分解掃除等の御修理 )時\*活用 昨今甚しく時計類品薄の折柄時を活用・時計を愛用 分解掃除等の御修理は何辛技術の店として常に側折呼を載い出來る女け御手許の時計を御活用下さい

龍



